



第7回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

2018年2月15日 坂戸市文化施設オルモにて、第7回地域連携セミナーを開催いたしました。今回は、フィリップス・レスピロニクス合同会社様より、在宅酸素療法/在宅人工呼吸器の種類、適応、利用時の注意点に関する講演をしていただきました。

院長の坂井田先生にも参加いただき、先生をはじめ、ケアマネジャーさんからも多くの質問が挙がり、充実したセミナーになったと思います。

当クリニックでも、在宅酸素療法（HOT）、在宅人工呼吸器を使用している方は大勢いらっしゃいます。在宅酸素療法は、使用することで、呼吸が楽になったり、身体の負担を減らすことができます。在宅人工呼吸器は、呼吸をしずらい方が使用することで、呼吸のサポートをしてくれます。

持ち運びに便利な、「シンプリーゴー ミニ」の紹介もありました。充電式で使用でき、コンパクトなのが特徴の軽量サイズの酸素装置です。お出かけ先や、旅行先、仕事中にも使用できるとのことでした。

在宅酸素療法は、酸素濃度の高い空気を送り出す装置なので、火を使用する際には、十分に注意が必要です。ストーブの近くや、タバコを吸う方の近くでの使用は厳禁です。使用者が周りにいる方は、注意いただけるようお願いいたします。

今後も定期的にセミナーを開催いたしますので、ぜひご参加ください。次回は5月中旬を予定しています。

アンケートの声

☆今回ご参加いただきました皆様のご感想やご意見を紹介します☆



シンプリーゴー ミニ

〈セミナーについて〉

- ・在宅酸素療法を使用している利用者が多いため、同じような研修を受けるようにしています。新しい機器ができ、対応に変化が必要と思いました。わかりやすい研修でした。
- ご参加ありがとうございました。医療機器や薬等ほとんど新しいものが出るので、直接、業者の話が聞けるといって、良い機会をご提供できたと思います。
- ・商品説明会になってしまっていたので、現場の事例等の話も聞きたかった。
- ご意見ありがとうございます。今回のセミナーの内容が機器の種類がメインになってしまい、事例等の話はできておりませんでした。今後のセミナーでは、事例等も交えてお話できるようにいたします。
- また、質問もたくさんいただき、時間も予定時間よりも延びていました。予定していた、人工呼吸器の体験もできずに終わってしまい、申し訳ありませんでした。

〈在宅酸素、人工呼吸器について〉

- ・知らないことばかりでとても勉強になりました。
- ・業者の直接の話を聞いて良かった。
- ケアマネジャーさんや薬剤師さんは、直接酸素業者との接点がありませんので、様々な業種の方がコミュニケーションをとれるのはいい機会だと考えています。今後も業者と地域の在宅に関わる事業所の皆さんと連携できる場を作っていきたいと思っております。
- ・ご本人や、家族が酸素のレンタル業者を指定できたらいいと思いますが、結局、業者の選定は先生次第なので、難しいと思った。
- 記載いただいた通り酸素業者の選定は、先生次第になります。但し、業者の説明不足や、点検に来られない等のご相談がありましたら、クリニックからも業者にお話しすることは出来ますので、なにかありましたら、ご連絡いただければと思います。

《その他のご意見》

- ・利用者宅へ訪問する際は、常にパルスオキシメーターを持参しています。
- ケアマネジャーさんも日々注視してくださるのは、心強いです。
また、パルスオキシメーターは、在宅酸素療法中の方でしたら、基本的に業者が無料で貸し出してくれます。
- ・外出に携帯酸素の残量計算に戸惑うことがあります。
- 患者さんやご家族の方から、よく聞かれる質問です。
酸素流量によって、残り何時間使用できるか、変わってきます。計算に不安な際は、直接業者に確認するのも良いかと思います。

高齢者に多い「誤嚥性肺炎」について

日本における、死因として、がん、心筋梗塞、脳卒中に次いで**肺炎・気管支炎**が挙げられます。特に、肺炎・気管支炎による死亡の90%以上は、65歳の高齢者であるため、肺炎・気管支炎の予防や対策は非常に重要になります。今回は、誤嚥性肺炎の原因と予防・対策についてまとめたいと思います。

〈誤嚥性肺炎とは？〉

誤嚥性肺炎とは、口の中の唾液や、細菌が誤って気道・肺に入りこむことで起きる肺炎です。若い方であれば、気道に唾液など入った場合は、咳やむせて唾液等を出すことが出来ますが、高齢者であったり、脳血管障害等で嚥下機能が低下している方は、自覚症状がないままに唾液や、細菌等が侵入してしまいます。

また、嘔吐により誤嚥性肺炎を起こすこともあります。食前、食後の口腔ケアと、食事時の誤嚥防止が大切になります。

〈肺炎の影響〉

高齢者が肺炎を起こすと、入院等で横になっている時間が増えて、ADLが低下します。肺炎が治ったとしても、日々の生活が以前と同じように送れなくなってしまいます。そして、肺炎を繰り返すことにより、どんどんADLが低下し、寝たきり状態になり、介護度が上がっていきます。

ですので、肺炎を予防する口腔ケアは、健康寿命を延ばすために非常に大切なケアになります。毎日のことなので、介護する人の負担は少し増えますが、ケアをするしないで今後の介護の負担が大きく変わりますので、口腔ケアはぜひ実施してください。

〈誤嚥性肺炎予防・対策〉

誤嚥性肺炎の予防として、挙げられるのが口腔ケアです。口腔ケアにより、口内に残っている食べ物や、細菌を減らすことにより、誤嚥性肺炎のリスクを軽減します。口腔ケアをしている方と、実施していない方で、肺炎の発生率は、約40%減少される効果があります。また、機能的な口腔ケアをすることで、誤嚥が減る事はもちろん、食事を美味しく食べられるようになることで、栄養状態の改善もみられます。

当クリニックでは、肺炎球菌の予防接種を勧めており、在宅で診ている患者さんには、接種歴等確認して、していない場合は予防接種をするようにお話ししています。

肺炎球菌の予防接種は、1度だけ公費を使って接種できます。1度の接種で5年間効くと言われていています。もちろん自宅で接種できますので病院に行く必要はありません。

今回は、誤嚥性肺炎についてまとめました。
高齢者に多い誤嚥性肺炎ですので、ぜひ参考にいただければと思います。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。
また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。
地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。